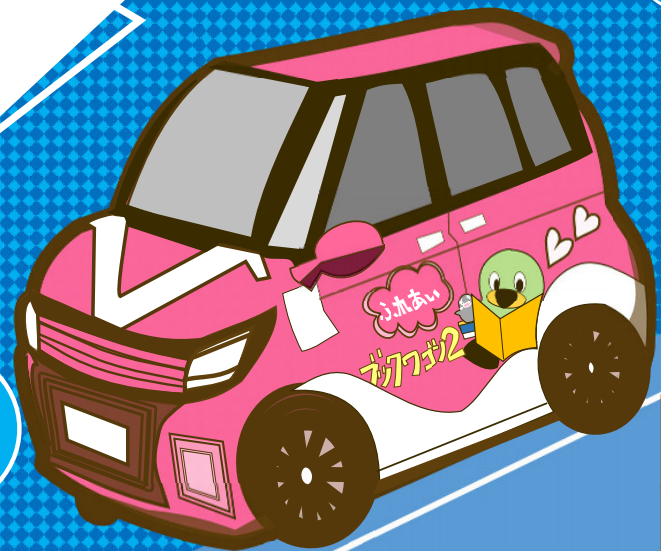
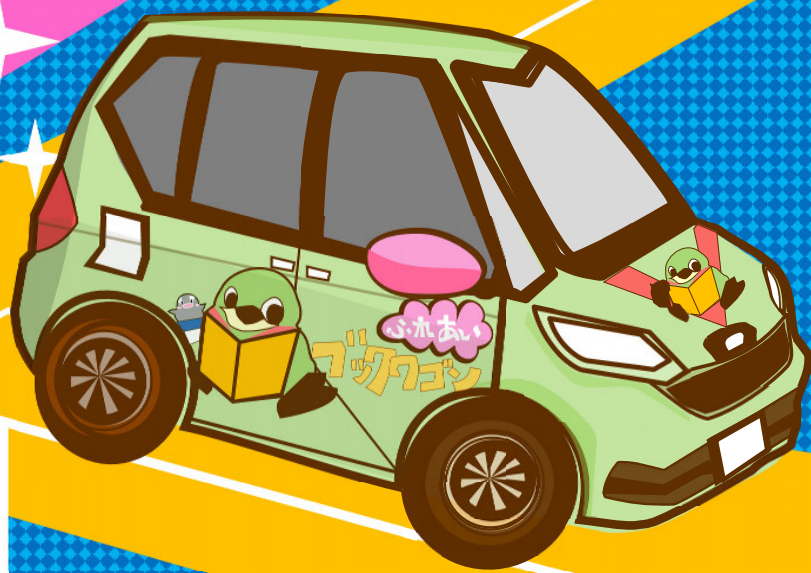


令和8年度～
令和12年度



三郷市
子ども読書
活動推進計画

第3次
にっ ぽん いち
日 本 一
の 読 書 の
ま ち 三 郷
推 進 計 画



令和8年3月 三郷市

ごあいさつ

近年、生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及などを背景として、読書離れや活字離れが指摘されておりますが、読書は、知識や教養が身につく、語彙力・文章力・コミュニケーション能力が向上する、情緒の安定に繋がるなど様々な効果があり、人の心を豊かにするものです。

本市では、平成25年に「日本一の読書のまち」を宣言し、こどもの読書を推進することにとどまらず、全世代の市民に向けた市民読書活動の各種施策を推進してまいりました。

このたび、第2次計画の計画期間が満了となることから、令和8年度からの5年間を計画期間とする、「第3次日本一の読書のまち三郷推進計画」を策定いたしました。

本計画は、前計画のキャッチフレーズである『日本一「本とふれあえるまち」』の実現を継承し、「どこでも本と出会い読書に親しむ」「いつでも本に触れ知識を深める」「だれでも本を通じて交流を広げる」の3つの基本方針を掲げています。また、本市独自の指標である「読書密度」の考え方の導入により、「地域」「機会」「人」の読書密度の上昇を目指し、市民の皆様にご協力を賜りながら、本計画を推進し、三郷市に住み続けていきたいと感じていただけるような読書のまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見とご提言を賜りました日本一の読書のまち三郷関連機関等連絡会委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました全ての皆様に御礼を申し上げますとともに、本市に向けて応援メッセージをお寄せいただきました柳田邦男先生に心より感謝を申し上げます。

令和8年3月

三郷市長 木津雅晟



三郷市読書活動応援団長 柳田邦男先生からのメッセージ

三郷市の皆さんへ

三郷市は、保育・教育において、一般市民の生活において、読書推進活動に熱心に取り組んでいて、全国的に知られるようになってきました。

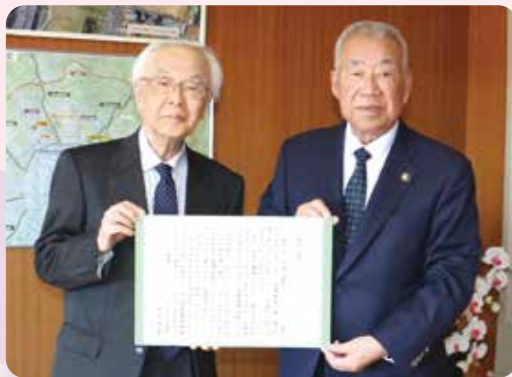
私は、取材や講演のために、毎年全国各地をかすくすのまらに出かけますが、三郷市ほど多角的で、きめ細かい読書推進活動をしていない自治体は、ほんのわずかしかありません。

いつも本を傍に置き、一日に20分でも30分でも本を読む習慣を身につけている人は、心かしばやかで強いです。経済的に苦しむ人が、心、大切な人をつくって、孤独にならなりました。

いまも、自分なりの生き方を見つけていることが、できるのです。三郷市の立派な図書整備環境をしっかりと利用しようではありませんか。

二〇二六年春

ノンフィクション作家
柳田邦男



木津市長へ応援メッセージを手渡す柳田先生

平成25年9月より柳田先生には三郷市読書活動応援団長として様々なご支援をいただいております。今計画の策定にあたっては監修をしていただくとともに、応援メッセージもいただきました。

柳田邦男氏：1936年栃木県生まれ。NHK記者を経てノンフィクション作家に。1972年『マッハの恐怖』で第3回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。95年『犠牲(サクリファイス)わが息子・脳死の11日』とノンフィクション分野の確立の貢献で、第43回菊池寛賞を受賞。近年は絵本の深い可能性に注目し、全国各地で絵本の普及活動に力を注いでいる。

目次

第1章 計画策定にあたって	1
1.1.第3次日本一の読書のまち三郷推進計画策定の背景	2
1.2.第2次日本一の読書のまち三郷推進計画の成果と課題	3
1.3.計画の策定体制	4
第2章 計画の位置付けと概要	5
2.1.計画の位置付け	6
2.2.計画の将来像	7
2.3.計画の期間	7
2.4.計画に記載された各施策の実施主体	7
2.5.計画の基本方針	7
2.6.計画の対象	8
2.7.計画のキャッチフレーズと読書密度	9
第3章 計画の体系図	11
3.1.計画の体系図	12
第4章 各施策の詳細と計画の推進体制	15
4.1.各施策の詳細	16
4.2.計画の推進体制	35
資料編	37
読書密度の根拠【地域】	38
読書密度の根拠【機会】	40
読書密度の根拠【人】	42
ふれあい文庫の配置方針図	43
「日本一の読書のまち三郷」に関するアンケート調査結果	44
三郷市の読書活動のあゆみ	46
公共図書館の状況	48
学校での読書活動の状況	48
読書活動に関する受賞歴	49
計画の策定体制の詳細と経緯	50
関係法令	53



1

第1章 計画策定にあたって



第1章 計画策定にあたって

1.1.第3次日本一の読書のまち三郷推進計画策定の背景

三郷市では、平成18年に小学校4校と公共図書館が国立教育政策研究所より、「生きる力を育む読書活動推進事業」の地域指定を受けたことをきっかけとして、小・中学校を中心に読書活動の推進に力を入れてきました。平成23年度には「読書のまち三郷・子ども読書活動推進計画」を策定し、「読書の楽しさ、知る喜びがあふれる読書のまち三郷」を基本理念として更なる読書活動の推進に注力してきました。

こうした読書活動を通して、こどもたちが輝きを増し、読書に対する気運が高まる中で、読書活動をとおして人と人との絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまちを創ることを願い、平成25年3月に市議会での議決を経て、「日本一の読書のまち」を宣言しました。

平成27年11月には「日本一の読書のまち三郷推進計画」を策定しました。令和3年3月には「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」を策定し、キャッチフレーズに日本一「本とふれあえるまち」を掲げて、読書活動の各種施策を推進してきました。

この度「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」の期間満了に伴う次期計画の策定のため、これまでの成果と課題を精査しました。

日本一の読書のまち宣言

読書は、先人の想い、人類の英知を伝えるとともに、みずみずしい感性や旺盛な好奇心を育み、より深く豊かに生きるための力となって、生涯にわたり大きな財産となります。

三郷市は、「日本一の「読書のまち三郷」づくり」をきっかけ、子どもたちに「読書の楽しさ、知る喜び」を伝えるため、家庭・地域・学校・図書館が一体となり、おはなし会やブックトーク、朝読や家読、子どもが感想などを伝えあう読書郵便、市が独自に編集した『言葉の力』、子ども司書の養成、読書フェスティバルなどにより、読書活動を推進してきました。

市制施行40周年の節目では、「全国家読サミット」において、三郷市を全国に向け発信しました。

私たちは、読書活動をとおして人と人との絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまちを創ることを願い、

- 1 乳幼児期から読書の世界に触れる機会を大切にします。
- 1 「家読ゆうびんコンクール」をはじめとし、家読をすすめます。
- 1 三郷の歴史・民話など、郷土を深く知る機会を大切にします。
- 1 図書館などを活用し、読書に親しむ機会を大切にします。
- 1 人と本をつなぐネットワークづくりをすすめます。

ここに三郷市は「日本一の読書のまち」を宣言します。

(平成25年3月18日議決)

日本一の読書のまち宣言



1.2.第2次日本一の読書のまち三郷推進計画の成果と課題

成果

- 計画のキャッチフレーズを、日本一「本とふれあえるまち」と掲げたことで、何をもって日本一かを名乗ることができた。
- 学校や児童・生徒が、文部科学大臣表彰をはじめとする各種の賞を受賞するとともに、三郷市教育委員会が、市民全体に対する取組も評価され、高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」を受賞した。
- ふれあい文庫を20箇所以上増設するとともに、「ふれあいブックサポーター」を育て、課題であった「ネットワークづくり」の構築に努め、新たなコミュニティを創出した。
- ふれあいブックワゴン2号車を導入し、高齢者施設等へ本を届け、司書が施設を訪問して本の紹介や読み聞かせを実施するなど、様々な読書の機会を提供した。
- 早稲田図書館で、長寿命化に伴う大規模改修工事を実施した。
- みさと絵本サーキットや各種講座等の開催により、市民が読書に親しむきっかけ作りを行った。
- こども司書が、図書館や店舗等での絵本の読み聞かせを行うほか、読書イベントに携わるなど、多岐にわたって活躍した。
- 「全国家読ゆうびんコンクール」を開催し、全国だけでなくギリシャ共和国などの他国からも応募があった。

課題

- 様々な手法で読書活動を推進しているが、本・雑誌を読まない市民や図書館を利用しない市民が一定数いるため、課題であった「市民総ぐるみの読書活動」、「知の創造」については引き続き推進していくことが求められる。
- 北部図書館など開館から時間が経過している施設では、施設の老朽化が進んだ。
- 図書館資料や電子書籍の充実への市民の期待の高まりに対して十分に応えることができなかった。
- 小学校や公共施設で活動する読書ボランティアについて、高齢化などの理由により、今後人数の減少が危惧される。
- こども司書卒業生による任意団体である三郷読書Read&Leadの会(R&L)について、活動支援が不十分だった。

1.3.計画の策定体制

(1) 市民参加

本計画の策定にあたっては、市民関係団体・関係機関の代表者で構成する「日本一の読書のまち三郷関連機関等連絡会」をはじめ、教育長と4名の委員で組織する「三郷市教育委員会会議」、庁内関係各課で構成する「日本一の読書のまち三郷推進関係行政協議会」を協議機関として検討を行いました。

※詳細については50ページ参照

また、市内で活動する読書ボランティアへの聞き取りを行うとともに、各種イベントの来場者に対し、アンケートの形で計画に対する意見及び要望を聴取しました。

【アンケートによる意見聴取者】 約660名

(時期と内容)

- ① 令和6年7月27日
読書活動・生涯学習推進講演会 「講師 香川元太郎氏」 約40名
- ② 令和6年10月19日
ふれあいブックサポーター講座 「講師 幅允孝氏」 約40名
- ③ 令和6年11月2日、3日
みさと絵本サーキット 「講師 とよたかずひこ氏・三浦太郎氏」 約50名
- ④ 令和6年12月
読書ボランティア団体へのアンケート 37団体 約430名
- ⑤ 令和7年1月24日
文学講演会 「講師 いせひでこ氏」 約40名
- ⑥ 令和7年3月15日
読書推進講演会 「講師 石井麻木氏・片平里菜氏」 約60名

(2) 教育委員会内での検討会議

教育委員会内では、関係課で構成する「計画調整会議」及び関係部で構成する「日本一の読書のまち三郷推進計画ワーキング会議」により検討を行いました。

(3) パブリック・コメントの実施

「第3次日本一の読書のまち三郷推進計画」(案)を公表し、令和7年10月27日から令和7年11月26日にかけてパブリック・コメントを実施し意見を募集しました。



2

第2章 計画の位置付けと概要





第2章 計画の位置付けと概要

2.1.計画の位置付け

本計画は、「第5次三郷市総合計画後期基本計画」、「日本一の読書のまち宣言」、「子どもの読書活動の推進に関する法律」、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(国)」、「埼玉県子供読書活動推進計画(県)」、「読書のまち三郷・子ども読書活動推進計画」、これまでの「日本一の読書のまち三郷推進計画」を受け、乳幼児から高齢者までのすべての市民を対象とする読書推進方策として位置付けるものです。

また、持続可能な開発目標(SDGs)についても計画に記載された各施策を通じて達成を目指していきます。





2.2.計画の将来像

本計画は、「日本一の読書のまち」宣言が提唱する姿を将来像とします。

目指す将来像

読書活動をとおして人と人との絆を結び、
誰もが、いつでも読書に親しみ、
心豊かに暮らすことができる、
文化のかおり高いまち

2.3.計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。ただし、社会情勢の変化等、必要に応じて計画の見直しを図ります。

2.4.計画に記載された各施策の実施主体

本計画に記載された各施策の実施主体については、施策毎に記載していますが、記載のない課、機関、団体等に対しても、読書活動の推進のため積極的に連携及び協力を実施していくものとします。

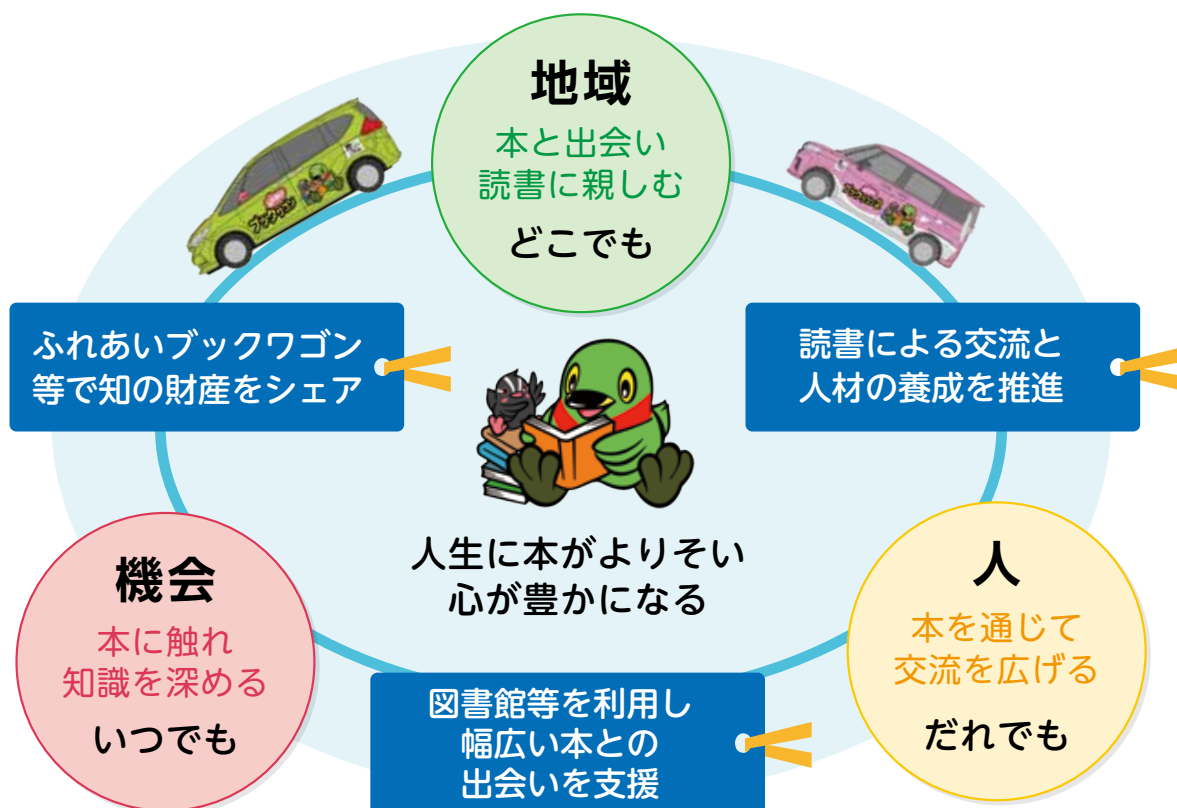
2.5.計画の基本方針

本計画によって導く市の将来像の実現のため、以下の3つの基本方針を立てるとともに、それぞれの基本方針を象徴するキーワードを設定します。

- | | | |
|-----------|------------------------|-----------|
| 1. | どこでも本と出会い読書に親しむ | 地域 |
| 2. | いつでも本に触れ知識を深める | 機会 |
| 3. | だれでも本を通じて交流を広げる | 人 |

3つの基本方針は互いに連携することで、読書活動全体の更なる拡大を目指します。

【3つの基本方針の連携イメージ】



2.6.計画の対象

本計画の対象はすべての市民としますが、本計画が「こども読書活動推進計画」を内包する計画となっていることから、こどもの発達段階に合わせて適切な施策を実行できるよう、成人未満については段階的な対象を設定しています。

- 乳幼児 … 0歳から小学校入学前まで
- 児童・生徒 … 小学校入学から中学校卒業までの義務教育期間
- 青少年 … 中学校卒業から概ね18歳まで
- 成人 … 概ね18歳から概ね65歳まで
- 高齢者 … 概ね65歳から
- 全世代 … 全ての年齢階層



2.7.計画のキャッチフレーズと読書密度

計画のキャッチフレーズ

日本一「本とふれあえるまち」

三郷市は、日本一「本とふれあえるまち」を実現するために読書密度を高めます。
読書密度とは3つの基本方針(地域・機会・人)と連動した三郷市独自の数値です。

今後は各数値の上昇を目指します。

① 地域に読書に関する拠点を増やして本と市民との距離を縮めます

読書拠点(※) ÷ 市の面積 = 地域の読書密度



※図書館(公共図書館、図書室、予約図書受取カウンター)、ふれあい文庫、小・中学校、ふれあいブックワゴンの訪問場所等の合計

この数値により、1km²の範囲内に読書拠点が何箇所あるかが分かります。

(地域の読書密度が大きくなればなる程、市内に読書拠点多いことになります)



市立図書館



早稲田図書館



北部図書館



ふれあい文庫(三郷市役所)



ふれあいブックワゴンの訪問(丹後保育所)

地域の読書密度の現状については38ページをご覧ください。



② 本との出会いを増やして市民が本に親しむ機会を増やします

$$\text{本との出会い(※)} \div \text{市の人口} = \text{機会の読書密度}$$



※図書館及び学校図書館での貸出冊数、各種事業（出張図書館サービス、ブックスタート等）の参加者、各種読書イベントの参加者、全国家読ゆうびんコンクール応募数等の合計

この数値により、市民1人に対し本との出会いがどの程度あるかが分かります。

（機会の読書密度が大きくなればなる程、本と市民との出会いが多いこととなります）

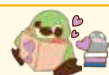


出張図書館サービスの様子（左 早稲田保育所、右 地区サロン）

機会の読書密度の現状については40ページをご覧ください。

③ 本と市民をつなぐ活動をする人を増やします

$$\text{本と市民をつなぐ人の数(※)} \div \text{市の面積} = \text{人の読書密度}$$



※こども司書、ふれあいブックサポーター、読書ボランティアの人数の合計

この数値により、1 km²の範囲内に本と市民をつなぐ人が何人いるかが分かります。

（人の読書密度が大きくなればなる程、本と市民をつなぐ人が多いこととなります）



こども司書による読書イベント補助の様子



ボランティアによる読み聞かせの様子

人の読書密度の現状については42ページをご覧ください。



3

第3章 計画の体系図





第3章 計画の体系図

3.1.計画の体系図

計画の根本

- ・ 第5次三郷市総合計画後期基本計画
- ・ 日本一の読書のまち宣言
- ・ ④子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画
- ・ ⑤埼玉県子供読書活動推進計画

—— キャッチフレーズ

基本方針 1 どこでも本と出会い読書に親しむ 地域

1	ふれあいブックワゴンや読書拠点ネットワークによる知の財産の活用 ☆	全世代
2	公共施設等の図書環境の整備と充実 ☆	全世代
3	多様な読書機会の確保	全世代
4	デジタル社会に対応した読書環境のDX化推進	全世代
5	学校図書館の環境の整備と充実	児童・生徒、全世代
6	寄贈本やリサイクル本の利活用	全世代
7	ふれあい文庫の拡充と適正な配置 ☆	全世代

基本方針 2 いつでも本に触れ知識を深める 機会

1	レファレンスやオンラインデータベースによる課題解決支援 ☆	全世代
2	図書館の利用を促進するための事業、講座、サービスの実施	全世代
3	小・中学校における読書活動の推進と充実	児童・生徒
4	読書活動を促す講座、講演会等の開催 ☆	全世代
5	ブックコラボレーションの推進 ☆	全世代
6	書店・出版社・各種企業との連携	全世代
7	郷土資料の収集や整理、市の歴史や文化に触れる機会の充実	全世代
8	ブックスタート事業の実施	乳幼児、成人
9	らんどせるブックよもよも事業の実施	児童、成人

将来像

読書活動をとおして人と人との絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまち

日本一「本とふれあえるまち」

基本方針 3 だれでも本を通じて交流を広げる 人

1	読書による交流事業の実施	☆	全世代
2	読書活動の周知と情報発信		全世代
3	図書館司書・学校司書の配置と連携		全世代
4	家庭での読書活動の推進		全世代
5	全国家読ゆうびんコンクールの開催	☆	全世代
6	三郷こども読書週間・秋の読書週間の推進		全世代
7	こども司書の養成と活動支援	☆	児童・生徒
8	ふれあいブックサポーターの養成と活動支援		青少年、成人
9	読書ボランティアの養成と活動支援		青少年、成人

☆は今計画で重点的に取り組む施策です。

取組に対する年齢階層

名称	対象とする年齢
乳幼児	0歳から小学校入学前まで
児童・生徒	小学校入学から中学校卒業までの義務教育期間
青少年	中学校卒業から概ね18歳まで
成人	概ね18歳から概ね65歳まで
高齢者	概ね65歳から
全世代	全ての年齢階層





4

第4章 各施策の詳細と 計画の推進体制



第4章 各施策の詳細と計画の推進体制

4.1.各施策の詳細

基本方針1 どこでも本と出会い読書に親しむ【地域】

1-1 ふれあいブックワゴンや読書拠点ネットワークによる知の財産の活用(全世代)

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、市民活動支援課、指導課、小・中学校、長寿いきがい課、障がい福祉課、こども家庭センター、すこやか課、保育施設、幼稚園】

三郷市全体を「大きな図書館」と捉え、全ての市民が読書に親しめるよう、ふれあいブックワゴンを活用し、市内の子育て施設、小・中学校、高齢者施設等に本を届けます。その際には、図書館司書が現地において本の紹介や読み聞かせイベント等を実施し、日頃、図書館等への来館が難しい方々にも読書の機会を提供していきます。

また、公共図書館3館と各地区文化センター、コミュニティセンター及び三郷中央におどりプラザ予約図書受取カウンターのネットワークを引き続き充実させるとともに、公共図書館と他施設が連携し、知の財産である「図書」の活用を図ります。



ふれあいブックワゴンを活用した図書配送と読み聞かせの様子

1-2 公共施設等の図書環境の整備と充実(全世代)

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、市民活動支援課、長寿いきがい課、こども家庭センター、児童館・児童センター】

全ての人が魅力ある本に出会うことができるよう、図書館や教育関係施設、老人福祉センター、児童館、児童センターなどの公共施設内にある図書室や図書コーナーにおいて、読書環境の向上に努め、図書資料の充実を図ります。

北部図書館は、開館してから30年以上が経過していることから、施設の長寿命化を進めます。

また、図書館の更なる利便性の向上のために、図書館システムや機器の更新、ホームページの充実を図るとともに、駅前などに図書資料返却ボックスの設置等を検討します。



いきいき元気コーナーの設置
(東和東地区文化センター)



図書館司書による蔵書の点検作業

1-3 多様な読書機会の確保（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、障がい福祉課、市民活動支援課、長寿いきがい課】

図書館では、全ての人々が利用しやすいよう、施設のバリアフリー化を進めるとともに、大活字本、点字図書、LLブック等を収集し、DAISY(デージー)、マルチメディアDAISY資料の貸出を行ってきました。今後も令和元年に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」に基づき、障がいの有無にかかわらず全ての市民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受できるよう、特性に応じた多様な形態の資料の充実に努めます。

日本語を母語としない利用者の利用促進のため、外国語で書かれた図書の収集、外国語版の利用案内の作成、図書館ホームページの多言語化、外国語によるコミュニケーション手段の確保に努めます。

また、図書館への来館が困難な市民に対して、図書館サービスを利用することができる仕組みづくりを検討します。



バリアフリー資料について

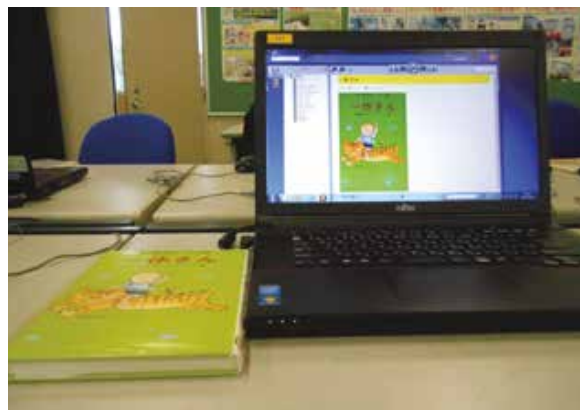
- 大活字本：視力が弱い人に対応するために、通常よりも大きな文字や判型を用いた本
- 点字図書：視覚障がいを持つ人のために点字が表記された本
- LLブック：知的障がいのある人や日本語を母語としない人など、文字や本の内容を理解することが苦手な人でもやさしく読めるよう工夫された本
- DAISY図書：視覚障がいを持つ人や普通の印刷物を読むことが困難な人のための録音図書



図書館で所蔵する各種バリアフリー資料
(点字図書・DAISY図書・大活字本・LLブック)



みる・よむ・きく バリアフリーコーナー



マルチメディア DAISY

1-4 デジタル社会に対応した読書環境のDX化推進（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館】

国が令和4年に策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に基づき、全ての市民の読書機会の確保、非常時における図書等への継続的なアクセスを可能とするために、三郷市電子図書館の電子書籍の充実や利便性の向上等を図り、読書環境のDX化を推進します。



三郷市電子図書館のホームページ



OPAC(オンライン蔵書目録検索システム)

1-5 学校図書館の環境の整備と充実（児童・生徒、全世代）

【教育総務課、指導課、小・中学校】

① 蔵書の充実

児童・生徒の個別最適な学びの支援及び豊かな読書体験あるいは経験を推進するため、教員・司書教諭と学校司書とが連携し、各教科の学習や総合的な学習の時間、調べ学習等の授業で活用する図書資料をそろえ、参考資料リストなどを作成することで学校図書館の「読書センター・学習センター・情報センター」としての機能を充実させます。

② 学校図書館の充実

学校図書館の充実のため、レファレンスの充実、効果的な館内ディスプレイ等に努めます。また、児童・生徒だけでなく、教職員や学校図書館ボランティアの要望に応えるため、当該校の学校図書館で資料が不足する場合は、公共図書館への貸出依頼等の支援を行います。

また、地域における読書活動を活性化するために、児童・生徒の安全を第一に、段階的な試みとして、児童・生徒の保護者や家族を対象として、学校図書館の地域開放を図ります。

③ 学校図書館ボランティアとの協働

こどもたちが自ら足を運ぶような魅力的な学校図書館の運営のため、学校で活動する学校図書館ボランティアとの協働を推進します。



学校図書館の地域開放の様子（丹後小学校）



1-6 寄贈本やリサイクル本の利活用（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館】

家庭で眠る本の活用とリサイクルの観点から、市民に対して本の寄贈を積極的に呼びかけると同時に受け入れ体制の充実を図ります。寄贈された本や図書館で除籍した資料は、図書館内で常時利用できるリサイクルコーナーの設置、小・中学校等への提供、ふれあい文庫の増設、本の交換を楽しむブックトレードのイベント等により有効活用します。



学校への児童書リサイクル



みさとブックマーケットでのブックトレード
(県営みさと公園)

1-7 ふれあい文庫の拡充と適正な配置（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、市民活動支援課、商工観光課】

市民からの寄贈本を活用した「ふれあい文庫」を公共施設、事業所、店舗等に設置することで市民の読書機会の拡充を図るとともに、地域的なバランスを考慮した配置に努めます。市民の読書のきっかけづくりとして、本を手にとってもらうことだけでなく、自由に借りられるようにすることで、普段図書館に行くことが難しい市民にも読書環境を提供します。

また、ふれあい文庫という憩いの空間や、本に備え付けた「感想文リレー」等により、本を通じて人と人との交流を図り、市民に愛される文庫づくりを推進します。



子育て支援施設



金融機関

基本方針2 いつでも本に触れ知識を深める【機会】

2-1 レファレンスやオンラインデータベースによる課題解決支援（全世代）

【公共図書館、小・中学校】

市民の身近な問題や、様々な資格の取得方法、医療・法律・介護・ビジネス等に関する疑問をはじめ、児童・生徒による調べ学習の解決の糸口となるよう、図書館資料、時事問題等に関する資料の充実にも努めるとともに、図書館及び学校図書館のレファレンスサービスの向上を図ります。

また、近年の社会情勢の変化と高度情報化社会の進展に伴い図書館利用ニーズが多様化・高度化していることを踏まえ、電子書籍に加えて館内での新聞情報や雑誌の記事検索、法律・判例情報や医学・科学技術の最新研究結果、辞書・辞典類の横断検索などが可能なオンラインデータベースの充実を図ることで、全ての市民が知識や教養を深められるよう、生涯にわたる読書活動・学習活動を支援します。

レファレンスとは

調べたいことや探している資料などについての相談を受け、必要な資料や情報をご案内すること



しらべるクイズの様子（市立図書館）



みる・よむ・きく バリアフリーコーナー
（早稲田図書館）

2-2 図書館の利用を促進するための事業、講座、サービスの実施（全世代）

【公共図書館、指導課、小・中学校】

一人でも多くの市民に図書館を利用していただくため、図書館のバックヤードツアーやオリエンテーション、資料の探し方・調べ方講座などの「図書館活用講座」を開催します。

また、保育施設や幼稚園、小学校、高齢者施設等への読み聞かせ会や親子おはなし会、科学遊び等、本との出会いを促進する事業を実施します。小・中学校と連携し、図書館

見学、職場体験などを受け入れることで、児童・生徒の図書館利用の促進を図ります。



図書館のバックヤードツアー（早稲田図書館）



小学校でのブックトークの様子

2-3 小・中学校における読書活動の推進と充実（児童・生徒）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、指導課、小・中学校】



① 学校読書活動の充実

○学校図書館の活用の推進

学校図書館利用オリエンテーションの実施など、学校図書館活用年間指導計画に基づいた読書指導を通じて、児童・生徒が学校図書館を効果的に活用できるようにします。

○学校読書活動推進協議会の活用

教員で構成する協議会による授業研究会や情報交換を通じて、学校読書活動を推進し、言語活動や探究活動の場として、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する学校図書館の活用や児童・生徒が主体となる読書活動の充実を図ります。

○読書ウィークの設定・読書フェスティバルの開催

学校や家庭での読書推進の意識向上を図るため、読書ウィークを設定します。読書ウィークの期間は、各校の特色を生かした取組を実施するとともに、「三郷市読書フェスティバル」を開催し、読書の意義や楽しさを共有する様々なイベントを実施します。

② 読書への関心を高める言葉・作品との出会い

○読書のまち三郷推進資料「言葉の力」の活用

三郷市では、児童・生徒が美しい日本語や豊かな言語表現と出会うことで言葉への関心を持ち、語彙を豊かにすることで、表現力、読解力を育むことを目的に、読書のまち三郷推進資料「言葉の力」を作成しています。「言葉の力」には地域に伝わる民話等も掲載されているため、小・中学校では授業で「言葉の力」を活用し、郷土愛をはじめ、豊かな心の醸成を図っています。

○「三郷おすすめの本・100冊」のリストを作成し、定期的に見直すことで、様々な本との出会いを促します。

③ 読書から広がる表現活動への支援

○読書を通じて育まれるこどもたちの豊かな感性を、文章や絵画で表現する各種コンクールや発表の場へのこどもたちの参加を促すとともに取組への支援を実施します。

○自分で決めたテーマや課題について調査をし、結果や考察をまとめ、報告・発表する活動の支援をすることで、児童生徒の課題解決能力、思考力、表現力、発表力等の育成を図ります。



読書フェスティバルの
読書ディスカッションの様子



読書のまち三郷推進資料「言葉の力」

2-4 読書活動を促す講座・講演会等の開催（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、小・中学校、市民活動支援課、長寿いきがい課】

① みさと絵本サーキットの開催

民間企業や関係団体等と連携の上、絵本作家や絵本専門士等を招聘した読書イベント「みさと絵本サーキット」を開催します。絵本作家等によるおはなし会や講演会、ワークショップ等を通じて、こどもや保護者に絵本の楽しさを

実感してもらい、

読書のきっかけ

づくりを創出し

ます。



② こどもの読書活動を支援するための講座等の開催

こどもが何かに興味をもったり、探求心が芽生えたりする中で、本を使って調べることは重要であるため、本と関わる機会を大切にします。本を身近に感じるために、絵本や児童文学の作家、こども読書活動に造詣の深い識者による講座や講演会、読み聞かせ等を開催し、こどもの読書活動の更なる推進を図ります。

③ 市民参加型講座

読書は、知識や教養を深めるための手段としての役割もあるため、公共図書館や公共施設等において、読書に関する講座やイベントを開催し、乳幼児から高齢者まで、様々な世代の方が読書の魅力を認識し、興味をもてるよう読書活動を推進します。

また、市民の自己表現を支援する講座や、高齢者の生きがいづくりや健康増進、認知症予防等、時代に即した講座の開催を検討し実施します。



絵本専門士のおはなし会（みさと絵本サーキット）



絵本作家のワークショップ（みさと絵本サーキット）



親子で楽しむ絵本とわらべうた講座
（講師 落合美知子氏）



読書推進講演会
（講師 石井麻木氏・片平里菜氏）

2-5 ブックコラボレーションの推進（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館】

市民の読書活動の推進のため、関係各課や関係団体等と連携した講座や企画事業を積極

的に開催します。公共図書館において講座や事業の特集コーナーを設置し、参加への機運を高めてそのテーマを深く知る足掛かりとします。

また、市民の読書活動のきっかけとするため、講座やイベントの際に会場に図書館資料を展示する等の工夫を凝らします。



読書活動・生涯学習推進講演会
(講師 香川元太郎氏)



みさとブックマーケットの様子
(県営みさと公園)

2-6 書店・出版社・各種企業との連携（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、商工観光課】

書店・出版社をはじめとする企業・事業所との連携を図り、共同でのイベント開催や各種事業への協力により、市民が本や読書に触れる機会の拡大を推進します。

また、公共図書館において、雑誌の最新号カバーにスポンサーの広告を掲載する「雑誌スポンサー制度」を活用し、民間企業等の情報発信の場を提供するとともに、読書のまちを応援いただき雑誌コーナーの充実を図ります。



出版社と連携した本の閲覧の様子



企業と連携した日本一の読書のまち三郷コーナー

2-7 郷土資料の収集や整理、市の歴史や文化に触れる機会の充実（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、生涯学習課、指導課】

① 郷土資料の収集・整理

市の歴史や文化を学び、貴重な資料を後世に継承していくために、図書をはじめとする各種資料や郷土資料、映像などの関連資料を市民と協働して収集していきます。また、それらの資料は公共図書館や郷土資料館等を通じて市民に紹介します。

② 小・中学校での郷土を知る機会の確保

地域に伝わる民話を編集し作成した「三郷の民話集」を、三郷市電子図書館で誰でも読むことができるようにし、児童・生徒及び保護者に対して民話を広める機会を推進します。また、読書のまち三郷推進資料「言葉の力」に民話などを掲載し、小・中学校の授業の際などで活用します。

③ 地域資料の閲覧

劣化や汚破損のおそれのある貴重な地域の歴史資料や、これまでは公共図書館や郷土資料館への来館者のみに公開されていた文献やデジタル化した資料をインターネット上で検索、閲覧を可能とします。



三郷に伝わる民話

2-8 ブックスタート事業の実施（乳幼児、成人）

【公共図書館、こども家庭センター、読書ボランティア】

赤ちゃんと保護者が絵本を通して楽しい時間を分かち合い、乳幼児からの読書活動のきっかけとするため、4か月児健康診査の際に、図書館司書と読書ボランティアによる絵本のプレゼント及び読み聞かせを行う「ブックスタート事業」を実施します。



ブックスタート事業の様子

ブックスタート事業とは

ブックスタート事業は赤ちゃんの健診などの機会に、「絵本」と絵本を開く「体験」をプレゼントする活動。これにより赤ちゃんと保護者が、絵本を介して心ふれ合うきっかけが生まれます。活動は自治体の事業として全国に広がっています。

2-9 らんどせるブックよもよも事業の実施（児童、成人）

【公共図書館、小学校】

幼児期に家庭で培われた読書への興味・関心を学齢期に引き継ぎ、こどもの感性や旺盛な好奇心を豊かに育てることを目的に、小学1年生を対象に図書館司書による図書館の利用案内と希望の本をプレゼントする「らんどせるブックよもよも事業」を実施します。



図書館司書による図書館の利用案内



基本方針3 だれでも本を通じて交流を広げる【人】

3-1 読書による交流事業の実施（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、指導課、小・中学校、長寿いきがい課、保育施設、幼稚園、高等学校】

① 人と人との絆を結ぶ読書活動の推進

本を通して語り合う「読書会」、高齢者が読書活動により健康増進や認知症予防につながる「高齢者健康増進事業」、昔の思い出を語り合う「回想法」、官民連携の読書イベントである「みさと絵本サーキット」等、読書を通してコミュニケーションを活発にし、絆を深めるための様々な読書活動を推進します。

また、学校でも読書により人と人との絆を結ぶため、読んだ本の感想や紹介等を伝える「読書ゆうびん」や、クラスや学年の友人と1冊の本をリレーのように回しながら、簡単な感想やキーワードを記入していく「リレー読書」等、読書による交流事業を推進します。

② 世代間及び世代を超えた交流の促進

世代間の交流を促す事業を推進するとともに、読み聞かせによるこども司書と高齢者との交流など世代を超えた交流も促し、新たなコミュニティの創造を目指します。



回想法講座（講師 中嶋恵美子氏）
（北部図書館）



敬老の日 こども司書おはなし会
（彦沢老人福祉センター）

3-2 読書活動の周知と情報発信（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、指導課、広報広聴課】

① 「日本一の読書のまち宣言」の周知

市民に対して「日本一の読書のまち宣言」を紹介するとともに、宣言に基づき三郷

市が日本一の読書のまちを実現するために実施している各種の取組を、広く市内外に周知します。

② 読書活動の紹介と情報発信

市や学校、民間施設との連携等で実施している様々な読書活動を、市の広報、ホームページ、SNS等で情報発信します。

また、日本一の読書のまち推進課で発行している「きらりきらきら読書だより」を公共施設やホームページ等で発信します。



市イベントでの読書啓発（におどり公園）



読書活動の紹介展示（文化会館）

3-3 図書館司書・学校司書の配置と連携（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、学務課、小・中学校】

図書館のレファレンスサービスの向上と充実を図るため、図書館司書を配置します。また、児童・生徒の疑問に答え、読書への興味を引き出し、教職員を支援するため、学校司書をすべての小・中学校に配置し、司書教諭、学校図書館教育主任及び公共図書館と連携して小・中学校の学校読書活動推進に努めます。



レファレンスサービスの様子（左 北部図書館、右 幸房小学校）

3-4 家庭での読書活動の推進（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、青少年課、指導課、小・中学校】

家読(うちどく)を推進するため、11月23日を三郷家読(家庭読書)の日と定めています。加えて小・中学校では毎月または学期毎に「家庭読書の日」を設け読書の機会を作ります。

また、夏休み等の長期休業期間を利用した家庭読書の取組を支援する一環として、「全国家読ゆうびんコンクール」を推進し、受賞作品集を公共図書館等に設置します。



全国家読ゆうびんコンクール作品集

3-5 全国家読ゆうびんコンクールの開催（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、指導課】

読書で得た感動や伝えたいことを絵と文章に込めて家族に伝えることで、家族の絆を深めるとともに、絵や文を通じて豊かな心や表現力を育むことができます。三郷市では、家庭での読書活動(家読(うちどく))を推進するため、「全国家読ゆうびんコンクール」を開催し市民はもちろん、全国各地からの応募を募っていきます。「全国家読ゆうびんコンクール」の推進として、保育施設、幼稚園等と連携し、園児や幼児、その保護者に対し、家読の取組と効果を周知し、参加を呼びかけるとともに関係機関にも協力いただき、全国各地にコンクールへの参加、及び協力を呼びかけます。

また、家読ゆうびんを国際交流のきっかけとし、ギリシャ共和国とのホストタウン交流も推進します。





全国家読うびんコンクールの受賞作品
令和6年度柳田邦男賞受賞作品



全国家読うびんコンクール表彰式の様子

3-6 三郷こども読書週間、秋の読書週間の推進（全世代）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、指導課、こども家庭センター、すこやか課、小・中学校、高等学校、特別支援学校、保育施設、幼稚園】

子どもの読書活動の推進に関する法律では、国民の間に広くこどもの読書活動についての関心と理解を深め、こどもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、毎年4月23日を「子ども読書の日」と定めていることから、三郷市では前後1週間を、「三郷こども読書週間」と定めています。

秋の読書週間とも合わせ、教育関係施設や公共図書館、及び関係各課、関係機関で読書に関する啓発事業を実施し、更なる読書活動の推進に努めます。



三郷こども読書週間の展示
(ららほっとみさと)



としょかんたんけん（北部図書館）

3-7 こども司書の養成と活動支援（児童・生徒）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館】

① こども司書養成講座の実施

三郷市におけるこども読書活動のリーダーとなる「こども司書」を養成する、「こども司書養成講座」を継続して実施します。

② こども司書の活動支援

これまで認定を受けたこども司書が、「日本一の読書のまち三郷」の読書活動推進の担い手として、図書館での事業や読み聞かせイベント等に参加し、将来的には地域の読書活動のリーダーとして活躍する人材となれるよう、活動の支援をします。



こども司書養成講座の様子（読み聞かせ）



こども司書おはなし会（希望の郷交流センター）

3-8 ふれあいブックサポーターの養成と活動支援（青少年、成人）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館】

市の読書活動を支える「ふれあいブックサポーター」を養成することで、多世代の市民による主体型の読書活動を推進します。「ふれあいブックサポーター」として認定を受けた後は、「ふれあい文庫」のお手入れ・本の入れ替えの他、本のカバーかけ、読書イベントのサポート等により、活動の充実に努めます。

また、サポーターがゆるやかに途切れず楽しく気軽に取り組むことができるようにするため、サポーター向けに講座や交流会を開催しサポーター同士の交流を深めます。



ふれあい文庫の本の入れ替えの様子



ふれあいブックサポーター交流会



3-9 読書ボランティアの養成と活動支援（青少年、成人）

【日本一の読書のまち推進課、公共図書館、指導課、小・中学校】

① 読書ボランティアの養成

社会活動への関心と、生涯にわたる生きがいづくり等から、様々な世代の方々がボランティアとして本市の読書活動に協力しています。

市ではボランティアグループや個人を対象とした、日本一の読書のまち三郷読書活動推進講座をはじめとする各種講座を開催し、読書ボランティアの養成に努めます。

② 読書ボランティアの支援

読書ボランティアの支援のため、備品の貸与や活動紹介、メンバー募集など各種の支援を行います。

また、読書に関するイベントを開催し、活躍場所の提供や紹介を行います。

③ 読書ボランティア交流会の開催

市内で活動するボランティアグループの情報交換や意見聴取の機会をもつため、定期的に交流会を開催します。

また、グループへのアンケートを実施し、活動状況の把握や今後の支援の参考とします。

④ 学校図書館と学校読書ボランティアとの連携

地域の方を中心に組織された、読み聞かせや学校図書館の整備を行っているボランティアグループ、司書教諭、学校図書館教育主任、学校司書等が連携を図り、児童・生徒の読書環境の更なる充実に努めます。また、小・中学校での学校読書ボランティアの活動を支援します。

⑤ 三郷読書Read&Leadの会(R&L)の活動支援

こども司書卒業生による任意団体である三郷読書Read&Leadの会(R&L)が、本のおしゃべり会や、市主催の読書イベント等に参加するとともに、様々な世代のニーズに応えられる自主企画を実施するなどできるよう、活動の支援をします。



読書ボランティア講座
(三郷中央におどりプラザ)



読書ボランティアによる読み聞かせ
(北部図書館)



学校読書ボランティアによる読み聞かせ
(新和小学校)



R&L 本のおしゃべり会
(早稲田図書館)



4.2.計画の推進体制

(1) 関係機関・関係団体との連携

本計画を推進するにあたり、日本一の読書のまち推進課が事務局となり、図書館、保育施設、幼稚園、学校、関係機関、市民関係団体、ボランティア団体等の代表者による「日本一の読書のまち三郷関連機関等連絡会」を組織し、連携体制及び推進体制を確立します。

(2) 庁内推進体制の確立

庁内では、日本一の読書のまち推進課を中心とし、庁内関係各課との連携と意識の共有を図ります。また、計画に掲げる各施策の総合的かつ効果的な実現のために、庁内関係各課で構成する「日本一の読書のまち三郷推進関係行政協議会」を組織し、年度ごとの進捗状況について把握します。



資料編



読書拠点(132箇所) ÷ 市の面積(30.22 km²) = 4.37箇所

令和6年度末の地域に関する読書密度



(1 km² 範囲内の読書拠点数)

●図書館【8箇所】

施設名		施設名		施設名		施設名	
1	市立図書館	3	北部図書館	5	彦成地区文化センター図書室	7	高州地区文化センター図書室
2	早稲田図書館	4	コミュニティセンター図書室	6	東和東地区文化センター図書室	8	三郷中央におどりプラザ予約図書取カウンター

●ふれあい文庫【30箇所】

施設名		施設名		施設名		施設名	
1	三郷市役所	9	岩野木老人福祉センター	17	三郷市文化会館	25	番匠免公民館
2	彦沢老人福祉センター	10	戸ヶ崎老人福祉センター	18	鷹野文化センター	26	八木郷子育て支援センター
3	ピアラシティ交流センター	11	いこいの家 717	19	イトーヨーカドー三郷店1階情報発信スペース	27	三郷中央駅前子育て支援センターにこここ
4	ネットヨタ東埼玉マイネット三郷店	12	ほっとサロン・いきいき	20	東横 INN 三郷中央駅前	28	三郷戸ヶ崎郵便局
5	健康福祉会館	13	三郷彦成郵便局	21	東横 INN 埼玉三郷駅前	29	アカチャンホンポららぽーと新三郷店
6	三郷中央におどりプラザ	14	スターバックスコーヒーららぽーと新三郷店	22	みさとのパン工房 SAKURA	30	イトーヨーカドー三郷店2階かいちゃん&つばちゃんひろば
7	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	15	スターバックスコーヒー三郷イトーヨーカドー店	23	大広戸東会館		
8	小向公民館	16	スターバックスコーヒー三郷中央店	24	三郷高州郵便局		

●小・中学校【26箇所】

施設名		施設名		施設名		施設名	
1	早稲田小学校	8	鷹野小学校	15	彦郷小学校	22	彦成中学校
2	八木郷小学校	9	新和小学校	16	丹後小学校	23	彦糸中学校
3	戸ヶ崎小学校	10	幸房小学校	17	前間小学校	24	前川中学校
4	彦成小学校	11	立花小学校	18	瑞木小学校	25	早稲田中学校
5	高州小学校	12	彦糸小学校	19	南中学校	26	瑞穂中学校
6	吹上小学校	13	前谷小学校	20	北中学校		
7	桜小学校	14	高州東小学校	21	栄中学校		

●ふれあいブックワゴンの訪問場所【68箇所】

施設名		施設名		施設名		施設名	
1	彦沢老人福祉センター	18	みさとのパン工房 SAKURA	35	認定こども園みさとさくらの森	52	幸房小学校
2	ピアラシティ交流センター	19	大広戸東会館	36	ささえあいの会みさとクローバー	53	立花小学校
3	ネットヨタ東埼玉マイネット三郷店	20	三郷高州郵便局	37	ほっとピアサロン	54	彦糸小学校
4	三郷中央におどりプラザ	21	番匠免公民館	38	よまさサロン	55	前谷小学校
5	岩野木老人福祉センター	22	八木郷子育て支援センター	39	コミュニティレストラン青いそら	56	高州東小学校
6	戸ヶ崎老人福祉センター	23	三郷中央駅前子育て支援センターにこここ	40	ガジュマルの郷	57	彦郷小学校
7	いこいの家 717	24	三郷戸ヶ崎郵便局	41	ファミリーケア三郷	58	丹後小学校
8	ほっとサロン・いきいき	25	アカチャンホンポららぽーと新三郷店	42	ぐるーぶきく	59	前間小学校
9	三郷彦成郵便局	26	イトーヨーカドー三郷店2階かいちゃん&つばちゃんひろば	43	早稲田小学校	60	瑞木小学校
10	スターバックスコーヒーららぽーと新三郷店	27	上口保育所	44	八木郷小学校	61	南中学校
11	スターバックスコーヒー三郷イトーヨーカドー店	28	丹後保育所	45	戸ヶ崎小学校	62	北中学校
12	スターバックスコーヒー三郷中央店	29	高州保育所	46	彦成小学校	63	栄中学校
13	三郷市文化会館	30	さくら保育所	47	高州小学校	64	彦成中学校
14	鷹野文化センター	31	早稲田保育所	48	吹上小学校	65	彦糸中学校
15	イトーヨーカドー三郷店1階情報発信スペース	32	彦成保育所	49	桜小学校	66	前川中学校
16	東横 INN 三郷中央駅前	33	みさと幼稚園	50	鷹野小学校	67	早稲田中学校
17	東横 INN 埼玉三郷駅前	34	認定こども園栄光けやきの森	51	新和小学校	68	瑞穂中学校

機会

本との出会い(1,595,883回※) ÷ 市の人口(141,935人) = 11.24回

※令和6年度公共及び学校図書館貸出冊数、各種読書事業参加者数

令和6年度末の機会に関する読書密度



(市民1人当たりの読書機会数)

●図書館等での主な取り組み

主な取組	事業名	内容
親子対象事業	ブックスタート	4か月児健康診査時に、読み聞かせと絵本のプレゼントを行い、親子で絵本を楽しむ時間の豊かさを体験してもらう
	親子おはなし会	乳幼児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせやわらべうた遊びなどを行う
	読書感想文講座	本の選び方や、感動した気持ちの表現方法など、感想文の書き方の基本を親子で学ぶ
幼児・小学生対象事業	かがくあそび	科学に関する実験遊びと工作、本の紹介
	おはなし会	絵本や紙芝居等の読み聞かせ
	スペシャル行事	夏休みや冬休み等の長期休みの時期に開催する、本にちなんだ特別イベント
	プラネタリウム	プラネタリウムの上映
	たからじまだより発行	おすすめ本や新着図書案内、行事のお知らせなど、図書館の情報を掲載したこども対象のおたよりの発行
	らんどせるブックよもよも	小学1年生に、本のプレゼント、図書館資料利用券の発行、図書館利用案内を実施
	英語絵本読み聞かせ	日本語を母語としない幼児・児童とその保護者などを対象に英語絵本の読み聞かせを行う
	ボランティアとの連携によるおはなし会	地域ボランティアと連携した絵本の読み聞かせや紙芝居の上演
	ブックトーク	小学3年生を対象に、一つのテーマにそって、数冊のさまざまなジャンルの本を順序立てて紹介する
学校関連対象事業	学級文庫おたのしみセット貸出	小学校への学級文庫用図書団体貸出
	中学生朝読セット貸出	中学校への学級文庫用図書団体貸出
	図書館見学	小学生への図書館案内、ミニおはなし会等の実施

主な 取組	事業名	内 容
学校関連 対象事業	中学生社会体験 チャレンジ事業	中学生を対象にした図書館の仕事の体験学習
	小・中学校資料集め協力 及び団体貸出	小・中学校において読書指導・調べ学習などで多くの資料が必要な場合に、学校の依頼に応じて資料を集め、学校団体貸出を実施
	リサイクル本提供	図書館への寄贈本や除籍した児童書を学校等へ提供
成人対象 事業	文学講座・講演会	作家や本に関わる著名人を招いての講座や講演会の実施
	映画会	名作映画を図書館で上映
	大人のためのお話し会	図書館司書による文学作品などの朗読や、参加者と一緒に音読を楽しむ
	図書館だより発行	おすすめ本や新着図書案内、行事のお知らせなど、図書館の情報を掲載した大人対象のおたよりの発行
	リサイクル本の提供	図書館への寄贈本や除籍になった本・雑誌を市民へ提供
	高齢者サービス	図書館や本の利用に困難のあるかたへの読書支援サービス
	図書館見学ツアー・ 図書館活用講座	司書の案内による図書館見学と、便利な図書館の使い方を紹介
全世代 対象事業	出張図書館イベント	図書館以外の場所で本に関するイベントを行い、図書館のPRと、読書啓発を実施
	星空観望会	天体望遠鏡を使用した星の観望会
	ふく福☆福袋貸出セット やみなべとしょかん	資料を見えない状態にパッケージし、利用者に短い紹介文から選んでもらい貸し出しを行う
	リサイクルコーナー	市民の寄贈本や図書館の除籍本をリサイクル本として提供し、本の有効利用を図る
	障がい者サービス	図書館や本の利用に困難のあるかたへの読書支援サービス
	みさと絵本サーキット	民間企業や関係団体等と連携の上、絵本作家や絵本専門士等を招聘した読書イベント
	日本一の読書のまち三郷 読書活動推進講座	日本一の読書のまちを推進する各種講座

人

本と市民をつなぐ人の数(885名) ÷ 市の面積(30.22km²) = 29.29名

令和6年度末の人に関する読書密度



= 10名



= 1名

(1km²範囲内の本と市民をつなぐ人の数)

●こども司書の推移(令和6年度末時点)

	年度	認定人数
第1期生	平成24年度	12
第2期生	平成25年度	16
第3期生	平成26年度	35
第4期生	平成27年度	34
第5期生	平成28年度	39

	年度	認定人数
第6期生	平成29年度	61
第7期生	平成30年度	32
第8期生	令和元年度	25
第9期生	令和2年度	33

	年度	認定人数
第10期生	令和3年度	35
第11期生	令和4年度	27
第12期生	令和5年度	22
第13期生	令和6年度	23

計 394名

●ふれあいブックサポーターの推移(令和6年度末時点)

	年度	認定人数
第1期生	令和3年度	16

	年度	認定人数
第2期生	令和4年度	16

	年度	認定人数
第3期生	令和5年度	9

計 41名

●読書ボランティアの名称・人数・活動場所(令和6年度末時点)

団体

	名称	人数	活動場所
1	読み聞かせボランティア	23	早稲田小学校
2	おはなしコロボックル	9	八木郷小学校
3	おはなし隊	10	戸ヶ崎小学校
4	読み聞かせボランティア	11	彦成小学校
5	たかす読み聞かせ隊	7	高州小学校
6	ひだまり	19	吹上小学校
7	そよかぜ	4	
8	おはなしポケット	10	桜小学校
9	おはなしクレヨン	15	鷹野小学校
10	おひさま	71	新和小学校
11	おはなしのブーケ	21	幸房小学校
12	ぶっくれんど	12	立花小学校
13	絵本読み語り	9	彦糸小学校
14	たんぼぼ	20	前谷小学校
15	お話チャイム	4	高州東小学校
16	おはなしばたけ	10	彦郷小学校
17	図書環境ボランティア	3	
18	おはなしたんご		丹後小学校
19	図書館整備ボランティア	42	
20	読み聞かせグループ		

	名称	人数	活動場所
21	前間ふれあい読書プー横丁	6	前間小学校
22	ムーミン谷の仲間たち	10	
23	ライブラリーボランティア絵本の会	12	瑞木小学校
24	図書ボランティア	12	
25	絵本とおはなしの会くれよん	3	南児童センター
26	おはなしの会「ひまわり」	4	瑞沼市民センター
27	三郷おはなし会	8	さつき平内ライブラリー
28	紙ふうせん	4	早稲田児童センター
29	わくわく紙芝居"赤とんぼ"	20	児童センター、図書館、小学校、高齢者施設他
30	人形劇サークル「ぼべっと」	6	瑞沼市民センター他
31	おれんじ☆ぶっくれんど	6	瑞沼市民センター
32	人形劇団「ぶんぶんみつばち」	8	コミュニティセンター他
33	東町みなみ町会隣友会「読書・文化クラブ」	6	小向公民館
34	このゆびとーまれ♪(みざときつず食堂)	15	三郷駅周辺他
35	桜と猫とお陽さまと	9	おもしろ遊学館他

個人

	名称	人数	活動場所
1	読み聞かせボランティア	1	立花小学校、北児童館、北部図書館他
2	読み聞かせボランティア	1	公共施設

	名称	人数	活動場所
3	図書館読み聞かせボランティア	12	公共図書館
4	ブックスタートボランティア	7	健康福祉会館

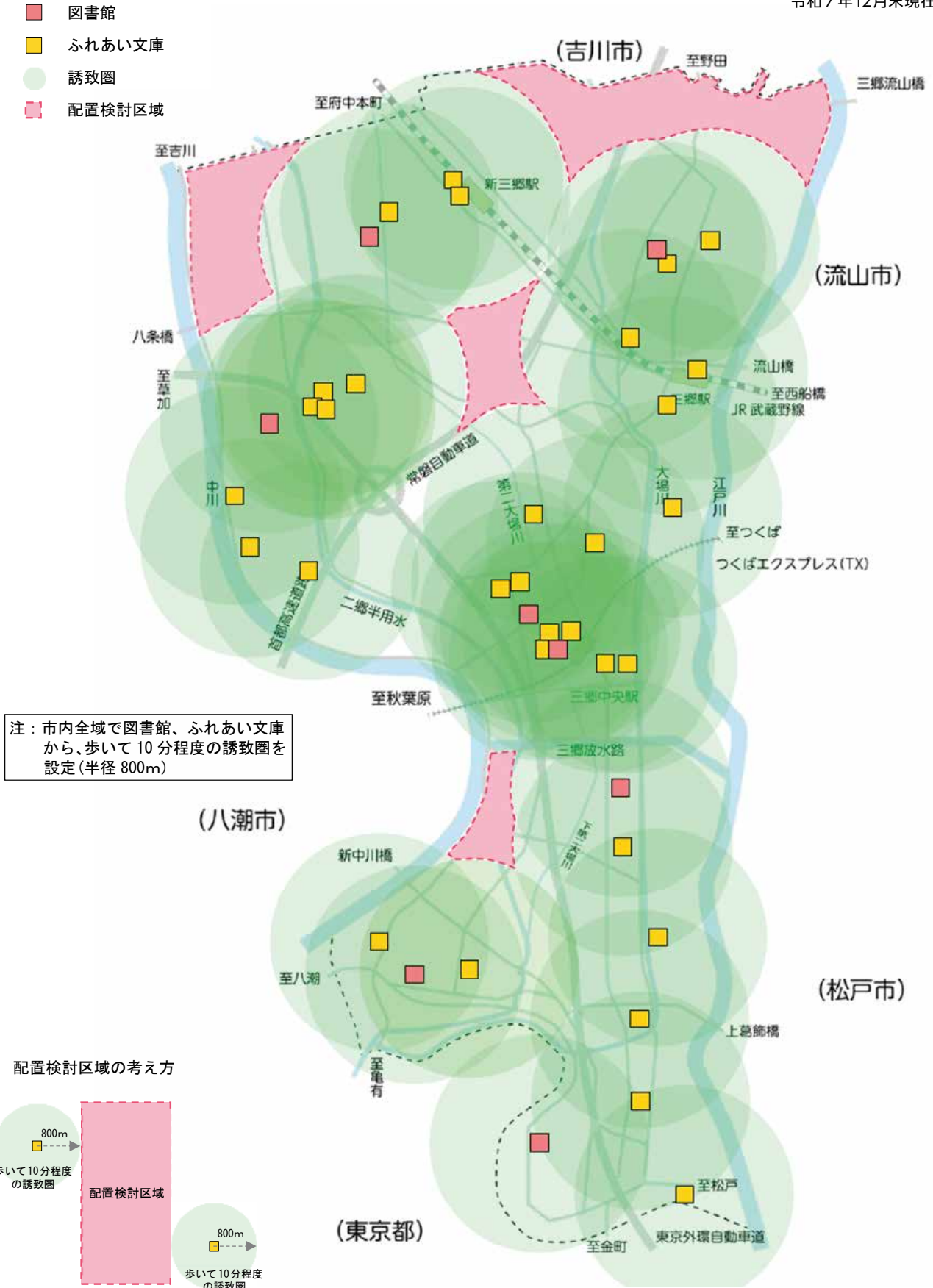
計 450名

ふれあい文庫の配置方針図

凡例

- 図書館
- ふれあい文庫
- 誘致圏
- 配置検討区域

令和7年12月末現在

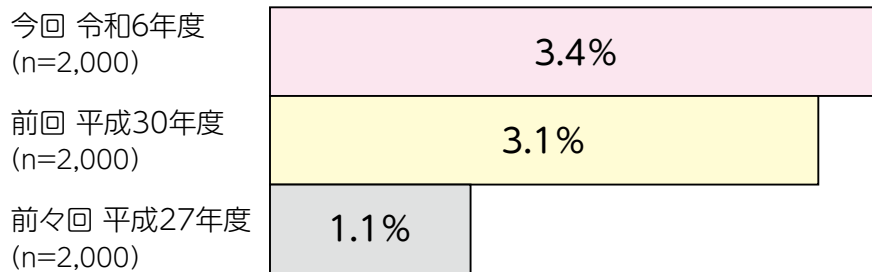




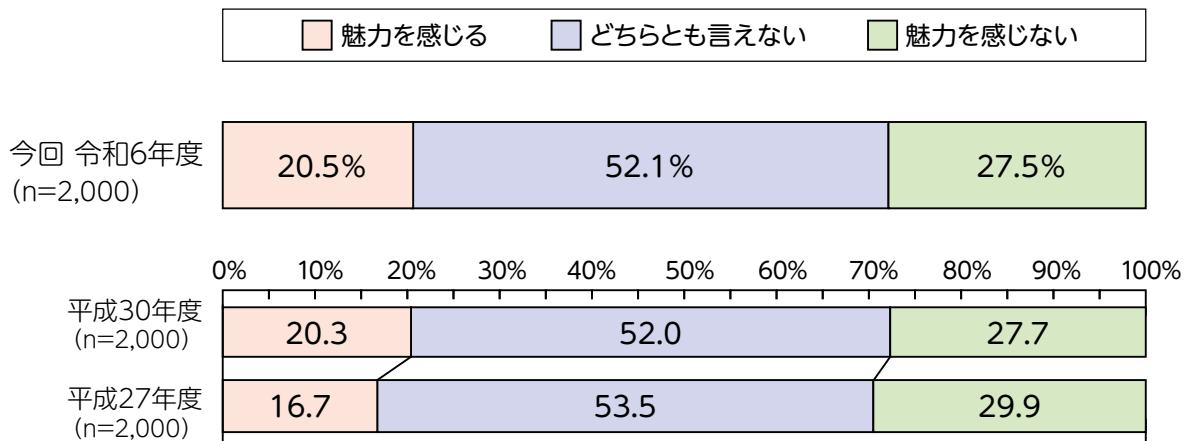
「日本一の読書のまち三郷」に関するアンケート調査結果

- ① 三郷市の特徴的な取り組みとして、「日本一の読書のまち三郷」を知っていますか。
(出典：第3回三郷市都市イメージに関するアンケート調査)

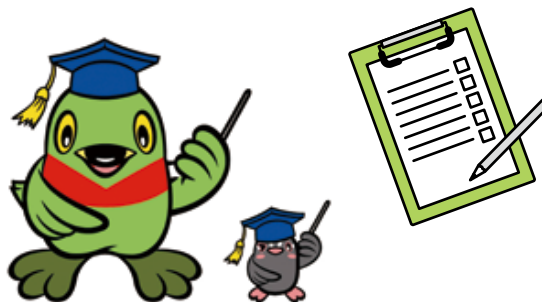
知っているとした割合



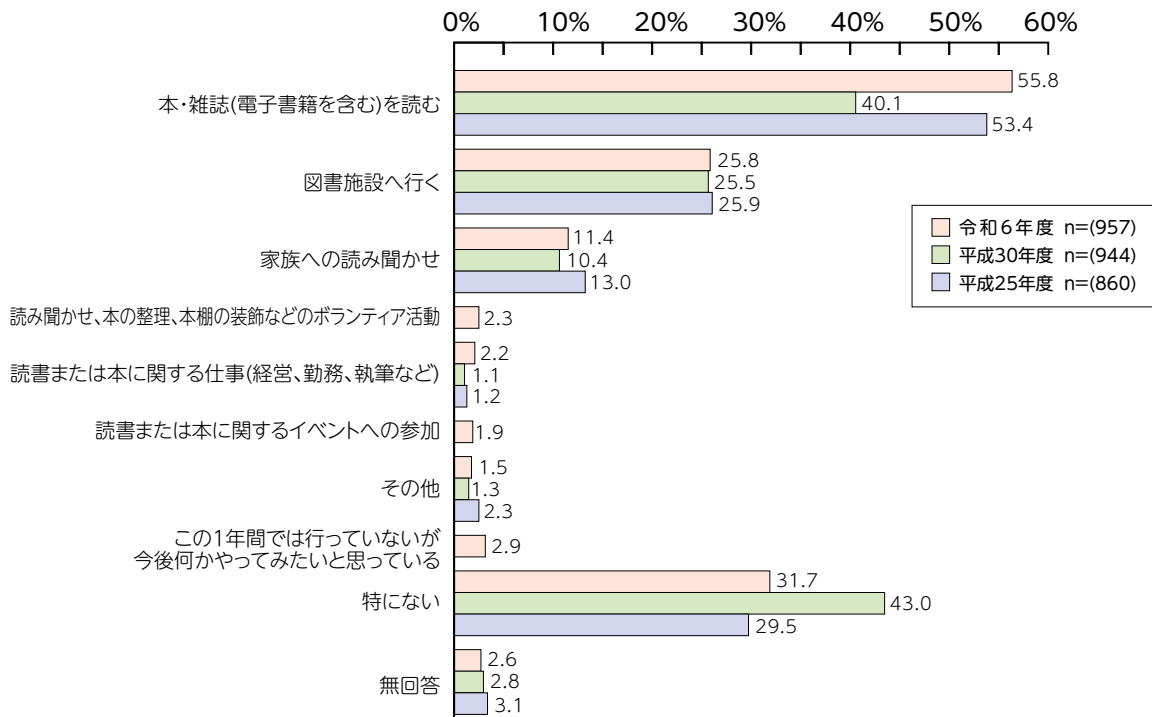
- ② 「日本一の読書のまち三郷」の取り組みについて、あなたは魅力的に感じますか。
(出典：第3回三郷市都市イメージに関するアンケート調査)



※調査結果の比率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

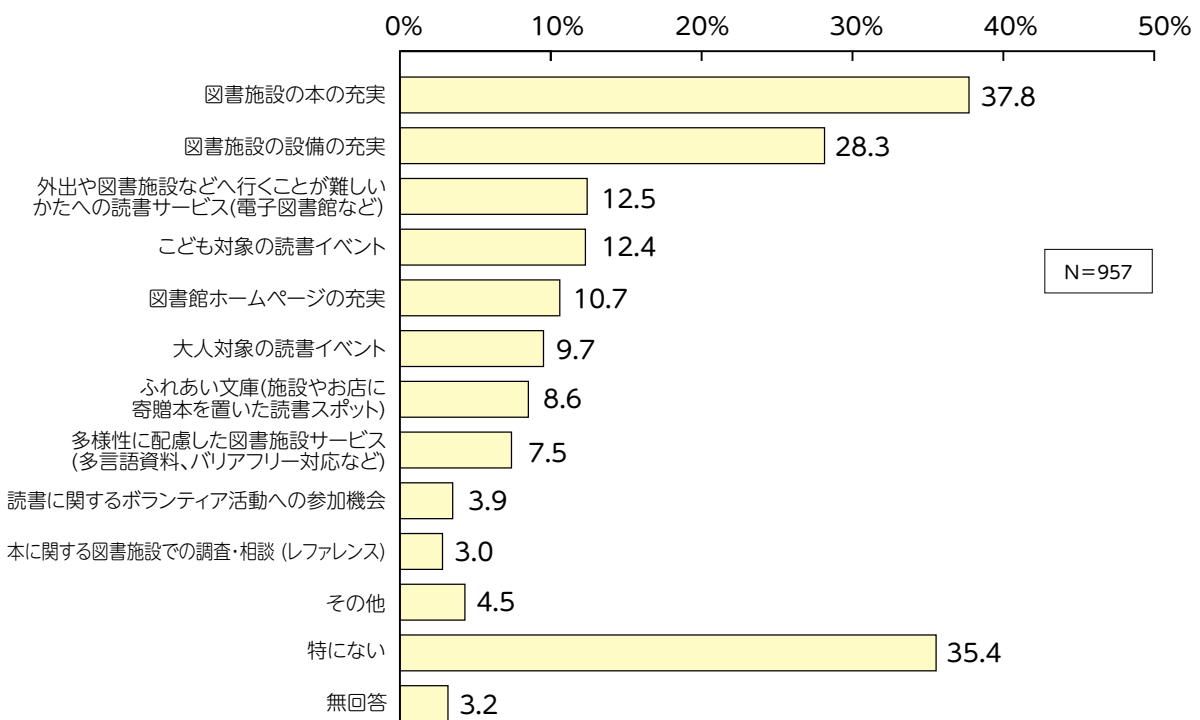


③ 読書や本に関係することについて、あなたが1年間で行ったのは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○) (出典：第18回三郷市市民意識調査)



※令和6年度調査では、質問と選択肢を若干変更している。

④ 三郷市の読書事業として、どのようなことに力を入れてほしいですか。(あてはまるものすべてに○) (出典：第18回三郷市市民意識調査)



三郷市の読書活動のあゆみ

- 昭和44年4月 三郷町図書室が開室(プレハブ平屋建)
- 昭和53年1月 移動図書館「ふれあい号」が運行を開始
4月 北公民館図書室が貸出を開始
- 昭和58年12月 旧庁舎を改築した市立図書館が開館
三郷市図書館協議会が発足
- 昭和59年4月 コミュニティセンター図書室が開室
- 昭和62年9月 早稲田図書館が開館し、市立図書館とオンラインで接続
- 昭和63年10月 東和東地区文化センター図書室が開室
彦成地区文化センター図書室が開室
上記2室と併せ既存の北公民館図書室、コミュニティセンター図書室もオンラインに追加しネットワーク業務を開始
- 平成4年2月 高州地区文化センター図書室が開室(オンラインに追加)
- 平成5年7月 北部図書館が開館(オンラインに追加)
- 平成8年3月 視覚障がい者サービス体制を整備
- 平成10年12月 北公民館図書室が閉室
- 平成11年3月 移動図書館「ふれあい号」が運行を終了
- 平成16年3月 三郷市図書館のホームページを開設
- 平成18年4月 小学校4校と公共図書館が「生きる力を育む読書活動推進事業」(国立教育政策研究所)の地域指定を受け、共同で研究を開始
- 平成22年4月 第4次三郷市総合計画のリーディングプロジェクト(日本一の「読書のまち三郷」づくり)として、学校教育の充実が位置付け
11月 「読書のまち三郷・子ども読書活動推進計画(平成23~27年度)」を策定



- 平成24年11月 市制施行40周年記念事業でこどもたちの読書活動の成果を発表
「第2回子ども司書推進全国研究大会」開催
- 12月 「第4回全国家読(うちどく)サミットin三郷」開催

- 平成25年3月 三郷市議会の議決を経て「日本一の読書のまち」を宣言

- 平成25年9月 三郷市読書活動応援団長に柳田邦男氏を委嘱

- 平成26年2月 市立図書館が移転準備のため閉館
- 4月 生涯学習部に「日本一の読書のまち推進室」が新設
- 6月 市立図書館が移転新築、三郷市立郷土資料館との複合施設
愛称「三郷市わくわくライブラリー」として開館
市立図書館の移転開館と同時にICタグシステムを導入

- 平成27年11月 「日本一の読書のまち三郷推進計画(平成28～32年度)」を策定

- 平成28年3月 早稲田図書館にICタグシステムを導入

- 平成30年3月 ふれあい文庫を設置(市役所1階)
- 図書館3館に「みる・よむ・きくバリアフリーコーナー」を設置
- 4月 組織機構改善により「日本一の読書のまち推進室」を「日本一の読書のまち推進課」へ変更
- 6月 三郷市電子図書館がオープン

- 平成31年3月 北部図書館にICタグシステムを導入

- 令和元年8月 三郷中央におどりプラザ2階に予約図書受取カウンターがオープン

- 令和2年7月 新型コロナウイルスの感染防止対策として書籍消毒機を全図書館
(8箇所)に設置
- 11月 ふれあいブックワゴンの運用を開始

- 令和3年3月 「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画(令和3～7年度)」を策定
- 7月 ふれあいブックサポーター養成講座を開始

- 令和4年10月 三郷市教育委員会が高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」を受賞

- 令和6年1月 ふれあいブックワゴン2号車の運用を開始

- 令和8年3月 「第3次日本一の読書のまち三郷推進計画(令和8～12年度)」を策定

公共図書館の状況

公共図書館の整備とネットワークの構築

本市では、昭和58年に市立図書館が開館したのを皮切りに、平成5年までに3つの図書館と4つの図書室を市内どの地域からも約1.5キロメートル圏内にあるよう開館・開室してきました。これら7施設は連絡車が巡回することで互いに繋がり、その結果どの施設でも予約資料の受取や返却が可能となる、図書館ネットワークを構築しました。

平成16年3月には、図書館ホームページを開設し、インターネットを利用した蔵書検索、予約受付等を可能とするとともに、平成25年4月からは、全図書館・図書室の開館時間を平日は19時まで延長、平成26年4月には、貸出冊数の上限を20冊に増やし利用者の利便性の向上に努めてきました。平成26年6月には、市立図書館が郷土資料館との複合施設 愛称「三郷市わくわくライブラリー」として移転新築し、ICタグシステムを導入して、自動貸出機による貸し出しを開始しました。平成30年3月には、みる・よむ・きくバリアフリーコーナーを図書館に設置し、高齢の方や障がいを持つ方に図書館を利用していただく環境を整えると同時に、スマートフォン、タブレットを利用して電子図書の閲覧ができる、三郷市電子図書館を導入するなど、新たな情報機器を利用した読書環境の整備に努めています。

令和元年8月には、三郷中央駅前に新たにオープンした公共施設「三郷中央におどりプラザ」の2階に予約図書受取カウンターがオープンしました。令和2年11月には、ふれあいブックワゴン、令和6年1月には、ふれあいブックワゴン2号車を導入し、更なる読書の機会を提供しています。

学校での読書活動の状況

三郷市では、平成18年に小学校4校と公共図書館が「生きる力を育む読書活動推進事業」(国立教育政策研究所)の地域指定を受け、共同で研究を開始してから、小・中学校を中心に読書活動が盛んになりました。平成23年度からは「読書のまち三郷・子ども読書活動推進計画」に基づき、基本理念を「読書の楽しさ、知る喜びがあふれる読書のまち三郷」として更なる読書活動の推進に注力しました。こうした読書活動を通して、こども達が輝きを増し、読書に対する気運が高まったことが、平成25年3月に「日本一の読書のまち」を宣言した大きな原動力となりました。

平成27年11月に策定した「日本一の読書のまち三郷推進計画」では、全国家読ゆうびんコンクール、三郷市調べる学習コンクールの開催、読書フェスティバルの実施をはじめ、読書のまち三郷推進資料「言葉の力」の活用、小・中学校における読書活動の推進など、こどもたちが読書に触れるきっかけづくりとなる事業の推進を掲げるとともに、学校図書館の充実や、学校司書をすべての小・中学校へ配置するなど、こどもたちの読書活動の大半を占める学校図書館の充実に関する施策を盛り込んでいます。

こうした取組が大きく実を結び、文部科学大臣表彰をはじめとする各種表彰の受賞が続いています。(詳細については次ページをご覧ください。)

読書活動に関する受賞歴

○文部科学大臣表彰

- 「子ども読書活動優秀実践校・図書館・団体」
- 前谷小学校（平成18年度）
 - 早稲田図書館（平成21年度）
 - 彦郷小学校（平成22年度）
 - 立花小学校（平成25年度）
 - 埼玉県立三郷工業技術高等学校（平成25年度）
 - 早稲田中学校（平成26年度）
 - 桜小学校（平成28年度）
 - 栄中学校（平成29年度）
 - ライブラリーボランティア絵本の会（平成29年度）
 - 新和小学校（平成31年度）
 - 早稲田小学校（令和3年度）
 - 幸房小学校（令和7年度）

○埼玉県・教育ふれあい賞

- 早稲田図書館（平成28年度）

○埼玉県・優良教育施設

- 市立図書館・早稲田図書館・北部図書館（平成29年度）

○公益財団法人高橋松之助記念顕彰財団

- 第15回高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」
- 三郷市教育委員会（令和4年度）

計画の策定体制の詳細と経緯

日本一の読書のまち三郷関連機関等連絡会

	選出団体・機関等	氏名	役職等
1	三郷市私立幼稚園協会	豊田 圭樹子	R7年度副会長
2	三郷市小・中学校校長会	宮崎 正子 (～R7.3)	R6年度副会長
		矢野 めぐみ (R7.4～)	
3	三郷市内県立高等学校	上田 誠治 (～R7.3)	
		横張 亜希子 (R7.4～)	
4	三郷市PTA連合会(小・中学校)	斉藤 孝夫 (～R7.3)	
		荒井 洋美 (R7.4～)	
5	三郷市文化振興公社	山本 幸宏	
6	三郷市社会福祉協議会	宮里 良天	
7	三郷市商工会商業部会	竹本 裕司	
8	三郷青年会議所	片倉 一利 (～R6.12)	
		山口 陽介 (R7.1～12)	
		篠田 翔太 (R8.1～)	
9	三郷市更生保護女性会	山崎 静江	
10	三郷市子ども会育成連絡協議会	鈴木 勉	
11	三郷市青少年育成市民会議	伊地知 幸子 (～R7.3)	R6年度会長
		山崎 治 (R7.4～)	
12	読書ボランティア	福地 ますみ	R7年度会長

敬称略

三郷市教育委員会会議

	職名	氏名
1	教育長	大塚 正樹 (～R7.10)
		檜垣 幸久 (R7.10～)
2	教育長職務代理	小川 詠二
3	委員	濱松 紀子
4	委員	堤 亜樹子
5	委員	竹谷 賢二

敬称略

日本一の読書のまち三郷推進関係行政協議会

	所属		所属		所属
1	広報公聴課	7	こども家庭センター	13	青少年課
2	市民活動支援課	8	すこやか課	14	日本一の読書のまち推進課
3	商工観光課	9	教育総務課	15	市民活動支援課所管施設
4	健康推進課	10	学務課	16	長寿いきがい課所管施設
5	長寿いきがい課	11	指導課	17	日本一の読書のまち推進課所管施設
6	障がい福祉課	12	生涯学習課		

経緯

月 日	会議名	事 項
令和6年4月17日	第1回計画調整会議	策定体制及び策定方針等について検討
令和6年5月22日	第2回計画調整会議	策定体制及び策定方針等について検討
令和6年6月12日 ～6月25日 (書面開催)	令和6年度第1回日本一の 読書のまち三郷推進 関係行政協議会	策定体制及び策定方針等について 意見聴取
令和6年7月3日	令和6年度第1回日本一の 読書のまち三郷関連機関等 連絡会	策定体制及び策定方針等について 意見聴取
令和6年9月12日	第3回計画調整会議	第2次計画進捗確認及び 第3次計画体系図について検討
令和6年10月2日	第4回計画調整会議	第3次計画体系図について検討
令和6年10月17日	第1回ワーキング会議	第2次計画進捗確認及び 第3次計画体系図について検討
令和6年12月19日	教育委員会協議会	第2次計画進捗報告及び 第3次計画体系図について意見聴取
令和7年2月4日	令和6年度第2回日本一の 読書のまち三郷推進 関係行政協議会	第2次計画進捗報告及び 第3次計画体系図について意見聴取
令和7年2月5日	令和6年度第2回日本一の 読書のまち三郷関連機関等 連絡会	第2次計画進捗報告及び 第3次計画体系図について意見聴取
令和7年2月19日	第5回計画調整会議	第3次計画の素案について検討
令和7年4月9日	第6回計画調整会議	第3次計画の素案について検討
令和7年4月24日	第2回ワーキング会議	第3次計画の素案について検討
令和7年6月9日	第3回ワーキング会議	第3次計画の素案について検討
令和7年6月18日	令和7年度第1回日本一の 読書のまち三郷推進 関係行政協議会	第2次計画進捗報告及び 第3次計画の素案について意見聴取
令和7年6月26日	令和7年度第1回日本一の 読書のまち三郷関連機関等 連絡会	第2次計画進捗報告及び 第3次計画の素案について意見聴取
令和7年7月17日	教育委員会協議会	第3次計画の素案について意見聴取
令和7年10月7日	第7回計画調整会議	第3次計画資料編等について検討
令和7年10月27日 ～11月26日	パブリック・コメントの 実施	第3次日本一の読書のまち 三郷推進計画(案)の公表



月 日	会議名	事 項
令和7年12月4日	第8回計画調整会議	パブリック・コメントの結果と回答の検討、計画書案及び概要版の検討
令和7年12月19日	第4回ワーキング会議	第3次計画書案及び概要版の検討
令和8年1月16日	教育委員会協議会	第3次計画書案及び概要版について意見聴取
令和8年1月28日	令和7年度第2回日本一の読書のまち三郷関連機関等連絡会	第3次計画書案及び概要版について意見聴取
令和8年1月29日	令和7年度第2回日本一の読書のまち三郷推進関係行政協議会	第3次計画書案及び概要版について意見聴取
令和8年2月18日	教育委員会定例会	第3次日本一の読書のまち三郷推進計画の議決



関係法令

本計画に関連する法令及び計画

【 法令 】

- 図書館法
(昭和二十五年法律第百十八号)
- 学校図書館法
(昭和二十八年法律第百八十五号)
- 子どもの読書活動の推進に関する法律
(平成十三年法律第百五十四号)
- 文字・活字文化振興法
(平成十七年法律第九十一号)
- 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律
(令和元年法律第四十九号)

【 計画 】

- 第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」
- 埼玉県子供読書活動推進計画（第五次）



ふれあいブックワゴン



ふれあいブックワゴン 2号車

ふれあいブックワゴン 1号車



ふれあいブックワゴンを活用し、市内の子育て施設、小・中学校、高齢者施設等、日頃図書館への来館が難しい方々に読書の機会を提供します。

ロゴマーク



「日本一の読書のまち三郷」の将来像や理念を表すロゴマークとして、平成29年の読書フェスティバルで、市民からの投票により決定しました。このロゴマークは「日本一の読書のまち三郷」をPRするために活用しており、条件を満たせば一般の方でも使用することができます。詳しくは日本一の読書のまち推進課までお問い合わせください。

第3次日本一の読書のまち三郷推進計画

(令和8年度～令和12年度)

発行 : 令和8年3月

編集 : 三郷市教育委員会 生涯学習部 日本一の読書のまち推進課

住所 : 〒341-8501 埼玉県三郷市花和田 648 番地 1

TEL : 048-953-1111 (代表)

URL : <https://www.city.misato.lg.jp/>

